



2019年2月14日

各位

会社名 東京応化工業株式会社
 代表者名 取締役社長 種市 順昭
 コード番号 4186 (東証第一部)
 問合せ先 広報部長 大橋 秀夫
 TEL. 044-435-3000

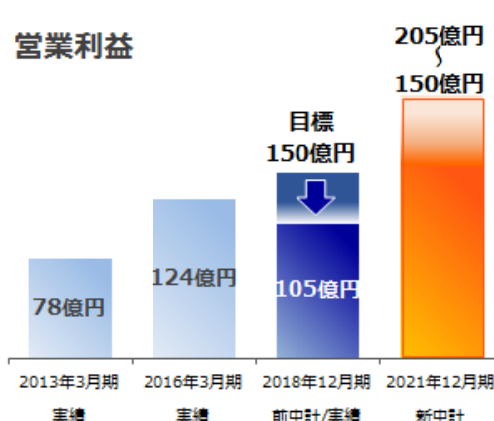
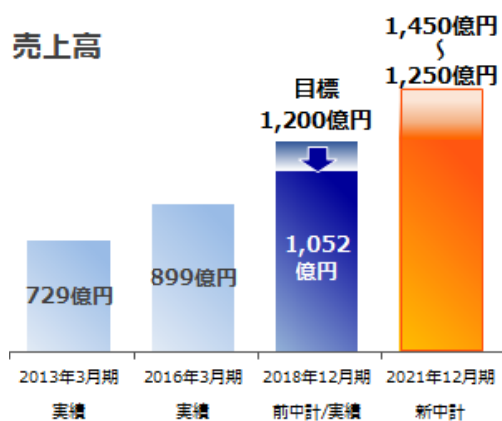
TOKグループ中期計画についてのお知らせ — tok中期計画2021 (2019年度～2021年度) —

当社は、2019年度～2021年度 (2019年12月期～2021年12月期) の3カ年を計画期間とする「tok中期計画2021」を策定しましたので、その概要を下記の通りお知らせいたします。

■ tok中期計画 2021 (2019年度～2021年度) の概要 ■

業績目標 (2021年12月期)	
売上高	1,250～1,450 億円
営業利益	150～205 億円
ROE	8.0%以上
為替前提	1米ドル=105円

経営ビジョン
 『高付加価値製品による感動(満足できる性能、コスト、品質)を通じて、世界で信頼される企業グループを目指す。』



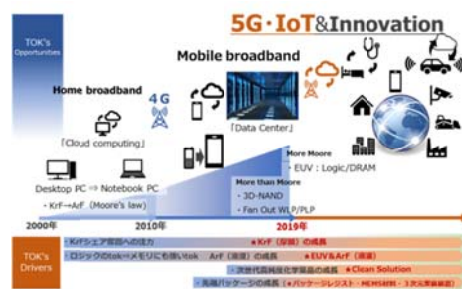
中期計画のポイント

- 事業ポートフォリオの変革を強化・・・「5G・IoT&Innovation」に求められる技術開発にチャレンジ
 ※5G・IoT&Innovation：第5世代移動通信システムの特徴(高速・大容量、超低遅延・超多数接続)を活かしたIoT等の実用化、高度化
- 成長軌道への回帰・・・・・・・・・・営業利益目標：150億円～205億円 (2021年12月期)
- バランスシートマネジメントを強化、新たな配当方針を導入
 ・・・・純資産配当率(DOE)3.5%を目処とする新たな配当方針
 ⇒1株当たり年間配当予想=120円 (2019年12月期)
 ・・・・株主還元策として自己株式の取得についても弾力的に対処する。

1. 「tok中期計画 2021」策定の背景・ねらい

「tok中期計画 2018」では、研究開発・生産基盤等の事業基盤強化は進みましたが、売上目標未達等により、利益の伸び悩みが続きました。この反省を踏まえ、「tok中期計画 2021」では、**全社戦略を刷新し、「5G・IoT&Innovation」に求められる技術革新を源泉に拡大するビジネスチャンスの獲得に向け、事業戦略を推進してまいります。**

- ・ 3D-NAND の更なる多層化への対応等
 - ・ 5nm、3nm 対応レジストの獲得等
 - ・ 新規 Clean Solution/新規シンナーの開発等
 - ・ 先端 BUMP プロセス、高周波デバイスへの対応等
- また、ESG 重要課題への注力により事業活動を通じた社会的課題の解決に積極的に取り組んでまいります。



2. 全社目標・全社戦略等

(1) 全社目標

TOK グループがやるべきニッチな市場を開拓する。

(2) 全社戦略の内容

全社目標ならびに業績目標達成に向け、下記事項を全社戦略として取り組んでまいります。

①顧客の声を的確に捉え、迅速に応え、顧客とのパイプを、より太く、より強いものとする

- ・ 顧客満足に徹したサポート体制ならびに研究開発に迅速かつ着実に取り組む。

②マーケティングを強化し、顧客の価値創造プロセスへの理解を深め新たな価値創造に結び付ける

- ・ 徹底的なマーケティングにより、顧客の新たな価値創造につながるソリューションを見極め、集中的かつ積極的に対応する。

③自ら調べ、自ら判断し、自ら行動できる人材を強化する

- ・ 様々な顧客とのビジネスの可能性を追求し、成功するまで挑戦を続ける人材を強化する。

④ tok 経営基盤の強化

- ・ グループマネジメントの更なる高度化とコーポレートガバナンスの充実ならびに経営資源のより効率的な活用を目的としたバランスシートマネジメントの推進に注力する。

(3) 新規事業への対応

機能性フィルム、光学部材、ライフサイエンス関連材料を注力テーマと位置付けるとともに、新たな技術シーズをコア技術として確立することに取り組んでまいります。

(4) バランスシートマネジメントに基づく施策

① キャッシュリザーブ

- ・ ロングランの研究開発型企業として、必要な資金確保の観点から算出。

② 株主還元/配当

- ・ 安定的かつ継続的な株主への利益還元を目的として新配当方針を策定。
⇒純資産配当率 (DOE) 3.5%を目処 (2018年12月期 期末配当より予定)
- ・ 株主還元策として自己株式の取得についても弾力的に対処する。

以上